

自由展・その後 示を巡って

岩崎 貞明



と尊敬の回復を希望している。2015年に東京都で19年に「あいちトリエンナ

いわさき・さだあき 1963年東京都生まれ、メディア総合研究所事務局長、雑誌「放送レポート」編集長。2015年の初開催から「表現の不自由展」に携わる。共著書に「現代ジャーナリズム事典」など。

1に妨害行為が相次ぎ、延期を余儀なくされた。申し訳ない気持ちでいっばいだ

「不自由展」の会場へ
「不自由展」の会場へ
「不自由展」の会場へ

新刊紹介

日本が保存した 中国の白話文学

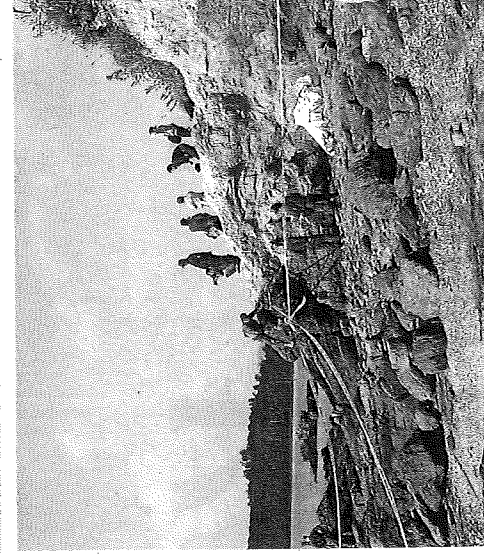
「開戦前後の中国文学交
流」(稲養穂子著)

ため美術振興の形で選定
していく。加えて中国で失
われた白話(口語体)文学が
日本に保存されていたこと
も分かり、日中の芸術交流
は、きま真に政治情勢の中
でも良好な状態にあった。
中国文学研究者・目加田

すたち・と
とある。1
大学法文学部
続けている。
会青年部所属
◇第

文化

北海道新聞(道新)記者
が旭川医科大学で取材中
に、大学職員によって取り
押さえられ現行犯逮捕され、
捜査が続いている。事前に
報道機関に対し取材禁止を
連絡した中、構内に入り、
会議の様子を無断録音し、
その場で身分を明らかにし、
明かされたからとされる。
しかし、社会における正当な
取材行為をどのよう
に認定するかは、取材・報
道者の自由は国民の知



2016年12月13日に発生したオオオスプリレイの墜落事故で、現場周辺に規制線を設けて県警や報道陣らの行動範囲を制限する米兵三名(札幌市安部)

公共性・公益性

記者の取材は、社会の一般
的な法や慣習と時に異な
る点がある。それは、記者・
視聴者に知らせておくべき
こと、事件・事故が起
きている現場に直接行つて、
きまんと自分の目や耳で
確認することで、責任を
持つて「ま起きているこ

時評

山田 健太

(7月)

とを「ま伝える」ことが
できるからだ。その際、取
材対象先に立ち入る行為は
少なからず、相手が嫌がる
タイミングであったり、場
所や内容であったりする。
その結果、相手方に近づ
くこと自体を拒否される
ことも少なくない。
しかしそれに従ってばかり
では、当然「本場の」地
でも、一方的に規制が張
られ、取材はおろか日本の
警察・行政関係者

取材の自由

現場入りは知る権利直結
職業上正当な制限破り

に「取材をすることが許さ
れるか」であるが、一般的
には、対象相手や取材場所、
報道予定の事象の公共性・
公益性と比較して判断し、
その理由を説明した結果、
それが社会的に許される
ことが期待される。
危険地取材のように、国
が紛争地への渡航禁止を勧
告あるいは推奨する場合が
ある。原発事故に際しては

今でも又禁止区域が設定
されている。こうしたル
ールは一定尊重する必要は
あるにせよ、取材の必要性
があると判断すれば、公共
性・公益性に鑑みて取材を
するものがジャーナリストの
仕事だ。
沖縄では日常的に、米軍
の事故があると通常の民間
地であっても、一方的に規
制線が張られ、取材はおろ
か日本の警察・行政関係者

取材の自由

現場入りは知る権利直結
職業上正当な制限破り

するようになるが、緊急性
を有する場合、立ち入り先
がまさに取材対象と許可を
しない(あるいは取材制限
をかけている)場合は、公
共性・公益性の観点から、
無断の立ち入り取材が備
理上許される場合が少なく
ない。ただしその場合には、
可能な限り組織的判断を行
うなり、行った場合はその
必要性を事後的に(通常は

報道に際して)、きまんと
読者・視聴者に対し説明す
ることが求められる。
また憲法のために、工
シゴトなどでその場の会
話を録音することも、公
的な会議や政治家の発言な
ど、公共性・公益性に鑑み
て結果的に「無断」であつ
ても取材倫理上は許される場
合がありえよう。
さらにこれが、私的空間
(病院や家の中など)にな
ると、盗撮・盗聴や潜入取
材という領域であつて、当

取材の自由

現場入りは知る権利直結
職業上正当な制限破り

然そのハードルは高くな
る。この場合であっても、
高度な公共性・公益性があ
れば許される場合があり、
例えばかつて、美里政治家
の病状が明らかでなかつた
とき、皇毛で療養中の姿を
盗撮した写真は、称賛をそ
ぐられた。あれ社会的非難はなかつ
た。
いずれにせよ、取材先の
都府で取材をすることがし

今後の重い課題

北海道新聞社は事件の発
生翌日の6月23日付朝刊

「開戦前後の中国文学交
流」(稲養穂子著)

「不自由展」の会場へ

「不自由展」の会場へ

アイダ
今日ほらに
待たれよ
一切の豊
シゴト
まらなる
しかし、格
重を重たい
無知な政
警鉄が唯
いつも比
けれど、声
速くの一
風の七つ
ほらほら
団数は無
オー風よ
私の生活
思いもよ
今わたし
ともあれ
勢いをあ
狼だらも
セルロイ